市長室から

〝政争よりソロバンを〟

宇城市長
阿曽田 清

17年度が終わり、2年目の18年度がスタートしました。振り返りますとすごく短い1年でありました。市民の暮らしを守ることで意を用いて、将来の展望を切り開くための施策に力を注いできたつもりです。

①宇城市総合計画の策定
②市財政の貸借対照表（バランスシート）公表
③行財政改革大綱樹立（行政・財政・意識の3大改革）
④健康立市宣言都市（MRI受診による検診アップ）
⑤伝統文化継承条例（伝統文化芸能祭り）
⑥国際理解教育特区（英・中国語会話導入・食文化・食育教育）認定

そのほか、次世代対策・子育て支援として医療費の無料化や保育費の減免など、合併モデル市を目指した基盤づくりを展開した年でした。

今年度は新たに、6月5日の世界環境デーを機会に「美しい街」を目指したNPO「環境保全隊」の出発があります。

また、就業の場を図るために、企業誘致と既存企業の雇用拡大を進めながら、旧5町の特色を生かした均衡ある発展を期する考えであります。アーカイブス条例（古文書・公文書の保存）を設定し、過去3度の市町村合併による重要書類が失われており、その保存を急がなければならないと考えております。市らしさ、市の風格を高めながら、市民の意識づけも急務であります。

なさなければならない課題は数多くあります。しかも時代は急速に変化しております。行政もスピーディーにしてレベルアップを図らなければ市民の負託に応えることはできません。

時は今、新市、初めての議会議員選挙が今月23日に行われます。「政争を捨てソロバンを」という選挙であってほしいと願っております。

5月の市長談話室は12日㈮を予定しております。参加を希望される方は、広報統計課（☎32―1111）へ4月20日㈭までにお申し込みください。

市政シリーズ No.1

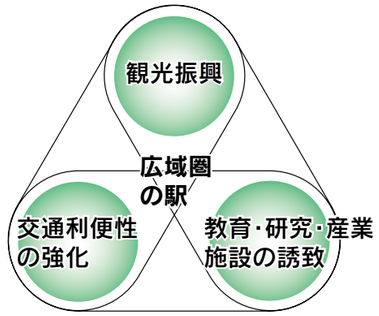
新幹線がやってくる

～九州・熊本の十字路に新幹線・新駅を～

地域活性化のために新駅設置を

新駅の計画地は宇城市の中心市街地であるJR松橋駅に極めて近い距離にあります。このことは、例えば中心市街地から離れた位置にある新八代駅や新水俣駅とは基本的に異なります。すなわち、JR松橋駅と現在その大半が農地である駅西側地区（新幹線新駅から見れば東側駅前地区）をJR松橋駅東側の中心市街地と一体的に開発することによって、既存の市街地とそのネットワークをうまく生かした形で新規の駅周辺開発が可能となります。このことから本計画地は、周辺都市と高度に結びついた広域圏の中の新駅として、新しい新幹線駅のモデルを構築するのに最も適した条件を備えているといえます。

広域圏域の情報を新駅構内だけでなく、観光の窓として駅周辺も含めたまちづくりを行っていくことによって、圏域内の新たな魅力を発掘し、情報発信を行っていくことが可能となります。



新幹線駅は、九州の大都市である福岡県、さらにそこから国内外の主要都市へ容易にアクセスすることが可能となり、広域圏域住民38万人の交通利便性が飛躍的に向上します。

新駅による新たなネットワーク、さらに広域圏域からの既存のネットワークを生かした駅周辺開発は、新駅周辺に教育・研究・産業施設を誘致、集約させる効果を増大させます。

待避駅誘致期成会の設立総会と総決起大会を開催

5年後（平成23年春）の九州新幹線全線開業を控え、その「待避駅」を宇城市に誘致しようと、2月20日、ウイングまつばせで開催されました。

待避駅とは、速達型の列車が遅速型の列車を追い越す機能を持った駅のこと。地理的条件と豊かな観光資源・文化遺産に恵まれた宇城市に誘致し、圏域全体を活性化させるのが目的です。

期成会は宇城・上益城・天草地域の5市14町の首長や議長、各種団体の代表などで構成。設立総会には、県・国会議員や地元県議会議員、同会委員など約100人が出席しました。

期成会規約案を承認した後、阿曽田清宇城市長を会長に選出。平成17年度・18年度の事業計画や予算などを決めました。

総決起大会には、地元住民など約800人が参加。阿曽田市長は「地域の将来を見据えてチャレンジしたい」と待避駅誘致への意気込みを語りました。

そのほか、地元住民代表の意見発表や大会決議の採決などが行われ、大会の最後を気迫の込もったガンバロー三唱で締めくくりました。

市／議／会／便／り

平成18年第1回市議会定例会が3月3日から20日までの会期で開かれ、平成18年度一般会計当初予算など58議案（予算20、条例20、その他14、承認1、同意2、諮問1）を審議、原案どおり可決されました。

その主な内容についてお知らせします。

また一般質問では8人の議員から質問がありました。

条例

【市特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について】

【市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について】

【市国民保護協議会条例の制定について】

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律の制定に伴い、新たに条例を制定しました。

【市介護保険条例の一部を改正する条例について】

【市農村コミュニティ施設条例の制定について】

農村地域の活性化及び地域交流を図るため農村総合整備統合補助事業において、小川町海東地区に農村コミュニティ施設の建設にあたり新たに条例を制定しました。

【市営農飲雑用水施設条例を廃止する条例の制定について】

【市立体育館条例の制定について】

体育施設の所管、管理運営等の整備のため、同条例の全部を改正しました。

【市松橋総合体育文化センター条例の制定について】

文化センターおよび体育施設の所管、管理運営等の整備のため、同条例の全部を改正しました。

【市小川総合文化センター条例の制定について】

文化センターの管理運営等の整備のため、同条例の全部を改正しました。

【市文化ホール条例の制定について】

文化ホールの管理運営等の整備のため、新たに条例を制定しました。

【第1次市国土利用計画の策定について】

国土利用計画法第8条第3項の規定に基づき、市の土地利用の指針となる計画を策定しました。

【指定管理者の指定について】

次のとおり指定管理者を指定しました。

○社会福祉法人 宇城市社会福祉協議会
総合健康福祉センター
豊野福祉センター
老人福祉センター
○有限会社 文殊のちえ
農産物処理加工センター
○不知火温泉有限会社
不知火温泉ふるさと交流センター
○有限会社 アグリパーク豊野
アグリパーク豊野
○三角町振興株式会社
三角西港観光施設
三角駅前フィッシャーマンズワーフ

※指定の期間は、すべて平成18年4月1日から平成21年3月31日までです。

予算

【平成17年度一般会計補正予算】

9978万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ241億3081万8千円としました。

【平成17年度特別会計補正予算】

＊国民健康保険特別会計

3282万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億9378万8千円としました。

＊老人保健特別会計

2億6825万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ81億7516万8千円としました。

＊介護保険特別会計

歳入歳出予算の総額はそれぞれ48億5478万9千円です。

＊奨学金特別会計

51万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ722万5千円としました。

＊簡易水道事業特別会計

813万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億5146万5千円としました。

＊農業集落排水事業特別会計

382万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億9522万9千円としました。

＊公共下水道事業特別会計

1億4164万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億3583万2千円としました。

＊水道事業会計

収益予算に4401万1千円を減額し、10億882万7千円とし、事業費用5403万2千円を減額し、12億6655万5千円としました。

【平成18年度一般会計予算】

歳入歳出予算の総額を263億971万9千円（前年度当初比11・9％増）としました。

主な事業は、三角と豊野の支所庁舎、本庁舎別棟の建設工事費計14億815万7千円、統合三角小学校の建設工事費7億7264万7千円、防災行政無線整備工事費2億5595万9千円、松橋駅周辺地区・新幹線待避駅周辺調査業務委託料2000万円などです。

【平成18年度特別会計予算】

＊国民健康保険特別会計 歳入歳出予算の総額をそれぞれ72億2700万1千円としました。

＊老人保健特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ66億1518万9千円としました。

＊介護保険特別会計

歳入歳出予算の総額はそれぞれ47億5200万円としました。

＊奨学金特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ1794万9千円としました。

＊簡易水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億6394万3千円としました。

＊農業集落排水事業特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億1851万8千円としました。

＊公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額をそれぞれ20億3092万9千円としました。

＊水道事業会計

収益予算を10億4305万円とし、事業費用を12億5253万5千円としました。

＊宇城市民病院事業会計

収益予算と事業費用をそれぞれ4億9876万4千円としました。

人事

【人権擁護委員候補者の推薦について】

現委員の松本晟氏（松橋町西下郷）の任期満了（平成18年6月30日）に伴い、同委員の再度推薦について適任と答申されました。

【固定資産評価員の選任について】

林田清治氏（58歳・宇城市市民部長）の選任に同意されました。

【教育委員会の任命について】

現委員の村上親氏（松橋町浅川）の任期満了（平成18年3月23日）に伴い、同委員の再度任命について同意されました。